

専修大学文学部
50周年記念企画

一人芝居 二本立て

多摩川に棲む大鯉を追い続ける老農夫。
一人と一匹の悠久の時の物語『こい』。
連綿と綴られた候文(そうろうぶん)。
世田谷満行寺の住職が遺した懺悔録『榎物語』。
“老い”という不可避なもの、
誰も免れられない孤独を写し出す
趣の異なる二題。

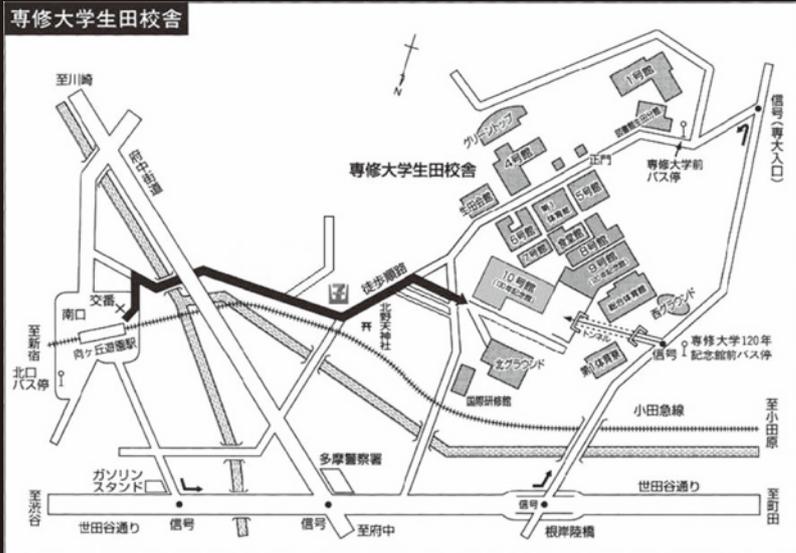
2016年10月11日(火)

専修大学 〒214-8580
生田キャンパス 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1
10号館 10301教室

※座席には限りがございます。当日は立ち見の可能性もあります。

◆申込手続：不要／入場料：無料

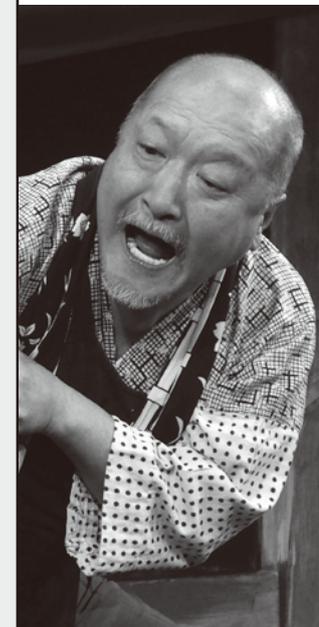
◆お問合せ先
専修大学教務課文学部窓口
044-911-1254
(平日 10:00~16:00 土曜 10:00~12:00 / 日祝休)



向ヶ丘遊園南口より徒歩15分
※南口周辺が複雑ですので、地元の方以外は、北口よりのバスのご利用をお勧めします。
(バス)●向ヶ丘遊園駅(小田急線)北口より「専修大学前」「聖マリアンナ医科大学」「あざみ野」行きバスで約10分 → 「専修大学120年記念館前」下車 徒歩3分
●向ヶ丘遊園駅(小田急線)北口より「専修大学9号館」行きバスで約10分 → 終点下車
●あざみ野駅(東急田園都市線・横浜市営地下鉄)より「向ヶ丘遊園駅」行きバスで約35分 → 「専修大学120年記念館前」下車 徒歩3分
※「専修大学120年記念館前」で下車した場合、隧道を抜けて正面、大きな外階段を上った校舎が10号館です。

こい

こいには俺の長年の競争相手みてえな、友達みてえな大鯉が住んでるんだ
作 森山正行 演者 柴田義之
老夫は毎日、多摩川に小船を出し、投網を打つ。愛用の網を半日ばかり打つと、決ってその岸辺から川の流れを眺める。疲れを癒すように、投網の余韻に浸るように、昔を想い出すように……。



榎物語

愚僧儀一生涯ノ行状、懺悔ノ為、其ノ大略ヲ此ニ認メ置候モノ也
作 永井荷風 演者 山本隆世
世田谷・満行寺の住職・良乗が、若かりし日に吾が身の犯した罪を振り返り、一通の文書に綴り遺した懺悔録。門前に立つ榎の大木を見上げながら、老いていく自分に何を見たのか……。

